

各 位

イメージワン、2nd SKIN LABS社とサイモンフレーザー大学の スマートテキスタイル共同研究を支援

～「工学×生理学」の横断的評価を支援し、身体のコンドィションを整える
次世代繊維の社会実装へ～

株式会社イメージワン（本社：東京都品川区、代表取締役：川倉歩、以下「当社」）は、2026年2月19日付で業務提携に向けた基本合意を締結した2nd SKIN LABS Inc.（本社：アメリカ合衆国、CEO：Takeshi Sugimoto、以下「2nd SKIN LABS」）を通じて、同社がカナダ西海岸を代表する研究大学として国際的に知られるサイモンフレーザー大学（Simon Fraser University、以下「SFU」）内のWearTech Labsと進める共同研究支援を開始したことをお知らせいたします。



1. 支援の背景：産学連携による「工学×生理学」の社会実装

近年、ウェアラブル技術と生体データを組み合わせた「スマートテキスタイル」は、ヘルスケアやスポーツ科学分野における次世代技術として世界的に研究開発が進んでいます。

2nd SKIN LABS社は、3月からサイモンフレーザー大学との共同研究プロジェクトを開始する予定です。同社は、光や熱に応答する独自のResponsive Yarn^{※1}を開発しており、その生体への影響を科学的に定量化することを目的としています。

この研究では、2nd SKIN LABS社の製品を使用し、SFUのWearTech Labと共同で、アクティブレストの効果の探求に焦点を当てて実施する予定です。

当社はこれまで、医療機関向けPACSや電子カルテをはじめとする医療DXソリューションを長年にわたり提供し、日本の医療現場を支えてまいりました。こうした事業活動を通じて培ってきた「現場ニーズの把握力」および「専門的知見」は、技術を実用段階へと橋渡しする上での重要な強みであると認識しております。

こうした当社の強みを掛け合わせることで、最先端の繊維技術をウェルネスや医療・介護領域における実用的なソリューションへと発展させてまいります。研究成果を社会に届ける“社会実装”を加速させることで、人々の健康とQOL向上に貢献するとともに、新たな価値創出にもつなげてまいります。

※1温度、湿度、光、圧力などの外部環境の刺激に反応して、自身の特性（形状、色、導電性など）を変化させる機能性繊維（糸）

2. 共同研究の核となる技術：「アクティブレスト」の実現

アクティブレストとは、疲労時にただ横になるのではなく、軽い運動やストレッチを積極的に行う「積極的休養」のことです。

本共同研究でのアクティブレストへのアプローチは、光や熱の応答による生理反応を活かし“身体のコンディションそのものを整える”仕組みの構築を目的としています。

また、単なる素材開発ではなく生理学的エビデンスに基づいた、医療機器的主張をしない範囲での科学的裏付けを重視して行います。

3. 主な支援内容

当社は、2nd SKIN LABSが進める研究活動に対し、日本の医療市場・現場の視点に基づいた以下の支援を行います。

・日本の医療・介護現場における活用可能性の提示

実際の臨床環境において、どのような課題解決が可能かについての情報を共有します。

・医療用途における留意点の共有

日本国内の規制や、医療従事者が求める安全・安心の基準に配慮したエビデンス構築の方向性について助言します。

・社会実装を見据えた視点共有

研究成果を「根拠のある機能性ウェア」として日本のマーケットに適応させるための実践的な視点を提供します。

※当社の役割は、知見の共有による「研究の支援」であり、共同研究そのものを主導したり成果を保証したりするものではありません。

4. 今後の展開

当社は、2nd SKIN LABS の共同研究を通じて得られる国際的なエビデンスを基盤に、医療 DX と革新的なテキスタイル技術を融合させ、患者様や医療従事者の QOL（生活の質）向上に寄与する新たな価値創出に取り組みます。

今後は、スポーツ領域のみならず、睡眠、ウェルネス、高齢者ケア分野への多角的な展開を視野に、本研究の成果をもとに、日本市場における将来的な製品化および販売展開に向けた検討を加速させ、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

■ 関係者の概要

2nd SKIN LABS Inc. <https://energyskinusa.com/>

鉱物(ミネラル)粉末等をテキスタイルへ複合させた独自技術を持ち、人のコンディションやパフォーマンスを支える機能性素材の研究開発を行うテキスタイル・テック企業です。

スポーツメーカー各社とのデザイン・開発経験を背景に、衣類が競技パフォーマンスに直接寄与することを目指し、皮膚反応・光刺激等の生理反応と素材設計を結び付けたアプローチを提示しています。

- Responsive Yarn の設計
- Photobiomodulation 系 (Blue Convert / Red Convert) の研究
- 波長変換セラミックの微粒子制御 (2 μ m 以下)
- FDA Class I 戦略準備
- スポーツ分野への展開 (ENERGY SKIN™)
- 次世代につながる繊維の販売と開発



■CEO : Takeshi Sugimotoよりコメント■

▶SFUとの共同研究に至った経緯

当社は、従来の「遠赤外線繊維」や「機能性繊維」とは異なる概念として、光・熱・波長に応答する“Responsive Yarn (応答型繊維)”の研究開発を進めてきました。

その中で、素材の物性評価だけでなく、『工学×生理学の横断的評価』が必要であると判断し、工学分野とスポーツ生理学分野を横断的に研究しているSimon Fraser University に注目し、研究提案を行いました。

大学側にとっても「新しい光応答型テキスタイルが生体に与える影響」の検証は学術的価値が高く、材料側の設計技術と評価側の解析技術における利害が一致したことで、本プロジェクトの始動に至りました。

サイモンフレーザー大学 (SFU) WearTech Labs

カナダを代表する研究主導型の公立総合大学。特に産学連携とイノベーション創出に定評があり、最先端デバイスの性能検証から生理学的エビデンスの構築まで、次世代のヘルスケア技術を生み出す国際的な研究拠点として知られています。

【株式会社イメージワンについて】

PACS (医療用画像管理システム)、電子カルテ、遠隔画像診断支援サービスなどの医療 DX ソリューションを提供しています。長年培った医療現場のニーズ把握力と専門的知見を活かし、ウェルネス、睡眠、医療・介護領域における新たな価値創出を推進しています。

代表者：代表取締役社長 川倉 歩

公式サイト：<https://www.imageone.co.jp/>

IRnote：https://note.com/imageone_2667/all

【本件に関するお問い合わせ先】

<https://www.imageone.co.jp/inquiry/>

以 上